

米海兵隊 MV-22 オスプレイ不時着事故への抗議決議

米海兵隊普天間基地所属の新型輸送機 MV-22 オスプレイが、12月13日夜、空中給油訓練中の空中給油機の給油ホースがプロペラに当たり損傷したため、沖縄県名護市辺野古の米海兵隊キャンプシュワブから数キロ近くの海岸から約80メートルの浅瀬に不時着し、機体を大破させる事故を起こした。

この不時着事故で、乗員2名が負傷し、民間人や民有地への被害は無かったが、一歩間違えば、民間人や民有地への甚大な被害が予想される深刻な事故であり、更に同日夜、事故機とは別の MV-22 オスプレイが、米海兵隊普天間基地で胴体着陸をしていた事故も判明しており、米海兵隊普天間基地をはじめ、多くの米軍基地を抱える沖縄県の県民に大きな衝撃と更なる不安を与えた。

また、同事故に対しての在沖海兵隊司令官で四軍調整官の認識と発言は、沖縄県民の不安を顧みないもので、到底容認できない。

よって本市議会は、米海兵隊 MV-22 オスプレイ不時着事故に強く抗議するとともに、米軍と政府に対し、不時着事故の原因究明と再発防止策の徹底が図られるまでの MV-22 オスプレイの運用停止、米海兵隊普天間基地の早期閉鎖と移設を行うことを強く求める。

以上、決議する。

平成28年12月16日

石垣市議会

あて先

内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、駐日米国大使、在沖米軍四軍調整官、在沖海兵隊司令官